

創立76周年
令和8年度6月号



咲かせよう大正の花 つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園
HP: <https://www.taito.ed.jp/1380011>



一緒に遊びたい！

園長 北村 恵

今、どの学年の子供たちも友達へと目が向いて、一緒に遊ぼうとする姿が見られています。ですが、うまくいかないことも多く、試行錯誤したりトラブルになったりする姿も多く見られています。幼児期に友達とたくさん一緒に遊んで、楽しい体験と同時にうまくいかないことを乗り越える体験を積み重ねることは、コミュニケーション力を伸ばすために大事なことです。

3歳児うさぎ組はまだまだ自分のしたいことに夢中な時期ですが、自分のそばで同じものを持っていたり同じ動きをしたりする友達の姿が嬉しくて、時々、後を追いかけてたり一緒に笑い合ったりする様子が見られるようになっていきます。その日その瞬間にそばにいることが心地よい相手だけでなく「〇〇マークのお友達はどこ？」と名札に貼ってあるシールを覚えて、特定の友達を探す姿も見られています。一緒にフロアーカーを走らせたことが楽しくて「〇〇ちゃんと仲良しになったんだ～」という子もいます。誰かと一緒に楽しいと感じてきています。

4歳児ぱんだ組は「友達と一緒に遊びたい」という気持ちが強くなってきていますが、「自分はこうしたい！」という遊びのイメージもはっきりしてきているので、ぶつかり合いが多くなっています。自分の考えと友達の考えが違うとは思ってもいけないので、どんどん自分の考えで遊びを進めてしまいトラブル続発です。担任は間に入って「Aちゃんはこう思っているんだって。Bちゃんはどうしたい？」「Bちゃんはこうしたいのね。Aちゃんはどうかな？」と、ひたすら子供同士の会話の橋渡しをしています。でも、『一緒に遊びたい！』と子供たちが思っているこの時期こそが大切なのです。葛藤や試行錯誤をしながら、友達は自分と違う考えをもっていることに気付いたり、友達の考えを受け入れてさらに遊びが楽しくなる経験を積んだりすることが5歳児のグループ活動へとつながっていきます。

5歳児ぞう組は3グループに分かれて縁日ごっこの準備を始めています。三人一組という少人数ですが、それでもアイデアをまとめていくのは大変です。誰か一人が主張していても他の二人が納得しなければ先に進むことはできません。三人それぞれがアイデアを出し合っているのか、納得できているのか、担任は丁寧に確認しながら準備を進めています。グループごとにお店に必要なものを作りながらも、ぞう組として、6月16日と17日にうさぎ組とぱんだ組を招待するという学級のめあてがあるので、担任が作ったカレンダーを確認しながら好きな遊びの中で誘い合って準備を進めています。

このように成長発達に合わせて「友達と一緒に遊ぶ楽しさ」を経験している子供たちです。失敗も糧としながら成長していく姿を日々支えていきたいと考えています。